隔日刊
食品新聞
発行所　食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪市北区西天満5－10－17
郵便番号　530‐0047
電話　06（6361）4972㈹
東京都中央区入船1－9－8
郵便番号　104‐0042
電話　03（3552）3756‐4031
名古屋市中区丸の内2・10・11
リプラ丸の内6　305号
郵便番号　460‐0002
電話　052（221）5391㈹
（支局）広島・福岡

©　食品新聞社 2019
THE JAPAN FOOD NEWS

購読料　半年33,346円

活気づく睡眠ビジネス

機能性表示で〝質の向上〟

「睡眠負債」解消へ 各社名乗り

睡眠ビジネスが活気づいている。アロマや入浴剤、医薬品、お昼寝カフェなどカテゴリーは多岐にわたるが、中でもサプリメントが注目され、機能性表示食品に認定された商品も多く出回っている。販売チャネルは通販が多いが、ドラッグストアでも存在感を保っている。働き方改革が浸透する中で、残業など業務の改善だけでなく、休息のあり方に目が向けられている。労働時間の使い方が重要になり、起きている時間に効率的なパフォーマンスを発揮するには「睡眠」がカギと言われ、質の良い睡眠に向けて食品業界のアプローチが活発化している。

各社の睡眠サプリメント

日本人の睡眠時間は世界でワーストワンと言われ、その経済損失は約15兆円ともみられている。「睡眠負債」という言葉も聞かれるようになった。睡眠不足が借金のように積み重なることで、負債がたまると業務パフォーマンスが低下し、生活習慣病の原因にもなる。

5人に1人が睡眠に問題を抱え、40～60代の女性が最も睡眠時間が短いという調査もある。処方箋として医薬品の睡眠改善薬も出回っているが、中でも睡眠をサポートする栄養素（グリシン、テアニン、GABAなどのアミノ酸）を含んだサプリメントや機能性食品、ドリンクなどが各社から発売され、注目されている。

味の素社は、2005年からアミノ酸グリシンの機能を生かした機能性表示食品、睡眠サポートサプリメント「グリナ」を発売し、健康基盤食品の中心的な存在に位置付けている。通販サイトの販売だが、口コミも手伝って広がりを見せている。

ハウスウェルネスフーズ「ネルノダ」のTVCM

ハウスウェルネスフーズは、今年3月から睡眠の質の向上に役立つ機能があるGABAを配合した機能性表示食品「ネルノダ」を発売。眠りの深さとすっきりとした目覚めに役立つ製品として全チャネルで販売。俳優の遠藤憲一さんを起用したTVCMを放映している。

大塚製薬はアスパラガス由来成分を含む機能性表示食品「賢者の快眠」を、昨年から通販やドラッグストアで発売。就寝・起床リズムを整えることにより、睡眠の質を高めることをサポートするサプリメントとして展開。同時に「目覚め方改革プロジェクト」を開設し、睡眠に対する認知を高める情報を発信。このほど開催したセミナーでは明治薬科大学リベラルアーツ・心理学の駒田陽子准教授が「ポジティブな生活に必要なリズムの重要性」をテーマに講演し、「睡眠負債解消には寝だめは逆効果で、生活のリズムを意識することが大切」と訴えた。

また、桃屋は8月末からオンラインショップ限定で熟成にんにくエキスを配合した機能性表示食品「桃屋のいつもいきいき」を発売。睡眠の質の向上と疲労感軽減機能を訴求する。江崎グリコは6月から初の機能性表示食品「エキストラ アミノアシッド テアニン」をオンラインストアで発売。睡眠の質を向上する機能がある「L－テアニン」を配合し、休息サプリメントとして展開している。

進化する「睡眠カフェ」

ネスレ日本は今年3月からNPOまちづくり大井とコーヒーウエルネスプロジェクトを立ち上げ、睡眠不足や睡眠負債に注目し、コーヒーの飲み分けを通じた睡眠スタイルを提案する体験型カフェ「ネスカフェ睡眠カフェ」を展開。8月からは大井町駅周辺企業に質の高い日中の昼寝（仮眠）を推奨するプログラムをレクチャーする「ネスカフェ睡眠カフェ×ゼロジム出張眠らせ隊」によりストレッチと眠りの瞑想を中心とした運動プログラムをレクチャーするサービスを始めた。

ネスカフェ出張眠らせ隊

世界の海苔を…世界の人々に
―国際海苔問屋、技術と信頼の―
株式会社ヤマコ
本社　〒446-0061
愛知県安城市新田町小山田19番地の1
TEL(0566)76-7611　FAX(0566)76-7788
中国
連雲港雅瑪珂紫菜有限公司
TEL 0518－2340617　FAX 0518－2340617

きょうの業界天気図
トマト調味料
くもり
ケチャップ需要は低迷。リコピンや減塩訴求などがカギに。

きょうの主な内容
4～5　トマト調味料特集
8　食用油版

リードタイム延長で意見書

深刻なドライバー不足背景に

全日本トラック協会

ドライバー不足が深刻化する中で（公社）全日本トラック協会食料品部会（坂本隆志部会長）は、このほど卸向けの配送日を受注の翌日ではなく、翌々日に延ばしてほしい旨の要望書を関係業界に提出した。「人手不足はトラック業界だけではないが、とくにトラック業界は顕著だと認識。今のままでは商品が運べなくなり、危機感を覚える」と坂本部会長は訴えている。

「多くの加工食品物流は、物流事業者が午後に出荷指図を受けて、翌日午前中に納品しているが、ドライバー不足が深刻化する中で、深夜運転や夜間の仕分け作業を前提とした運用がドライバーになることを敬遠させ、ドライバー不足に拍車をかけている」と言う。国交省、経産省、農水省によるホワイト物流の推進運動の「A－⑩リードタイムの延長」の中でもそれを求めている。

翌々日に延びれば納品先を確定して集車、配車調整することが可能となり、効率的な配車や運行計画をたてることで車両の削減になる。また、事前に出荷作業要員の手配を組むことができ、適正な要員の確保、他センターからの応援が可能となることで、出発時間の遅れを回避、倉庫員の作業時間短縮が可能になるなど効率は一気に高まる。

こうした動きを背景に味の素社は8月1日からリードタイムの延長を開始。繁忙期対策の一環として一時的に期間を設けて実施した企業は何社かあるが、恒常的に開始したのは味の素社が初めて。こうした流れは徐々に広がりつつあり、「業界の意見を集約するために食料品部会で意見書を提出した」。

しかも1社だけリードタイムを延長しても、翌日と翌々日が混在するだけでオペレーションは一層複雑になり、「一緒にすることが重要」とし、そのためは実際に個々の企業が荷主に要望することが前提だが、「ハードルは高い」。

今後、10％への消費税増税や連休、年末など車がひっ迫することは確実で、来年には東京オリンピック・パラリンピックも控えており、一刻も早い対応が望まれている。

おせち商材30品を値上げ

フジッコ

フジッコは11月1日から、年末向けのおせち商材30品の価格を改定する。対象商品数と値上げ幅は黒豆製品が7品で5％、昆布巻製品が4品で3％、栗製品が11品で5％、重箱用製品が3品で3％、セットものが2品で5％、その他3品が3～5％。なお、黒豆の「おせちカップ中粒丹波黒黒豆」は価格を据え置いたまま、容量を10ｇ減らし190ｇとする。

同社は6月に原料高騰や物流費の上昇による価格改定と規格変更を、昆布、豆、惣菜、ヨーグルトの各部門で実施。今回も同様の理由で、年末向け商材の値上げに踏み切った。

この人と30分

マルヤナギ小倉屋
社長　**柳本 一郎氏**

もち麦、潜在ニーズは絶大

成長分野で〝国産〟訴求

マルヤナギ小倉屋は市場が拡大している蒸し豆・もち麦のカテゴリーに、新ブランド「マルヤナギwith日本の農家さん」を投入する。成長分野に国産原料という価値を付加し、さらなる需要の拡大を図る。同社は7月に兵庫県加東市と提携を結び、希少な国産もち麦の生産拡大へ布石を打った。「もち麦は蒸し豆以上の市場に育つ」と強調する柳本一郎社長に話を聞いた。

◇　◇　◇

――加東市と連携協定を結んだ経緯を教えてください。

柳本　当社は15年前に蒸し大豆の販売を始め、5年前からはもち麦の開発育成に努めてきた。もち麦はブームが続くかたわら、原料のほとんどが海外産で数少ない国産は異常な高値となり手に入りにくい状況だった。何とか国産化できないかという中で、加東市との縁がありJAみのりの協力を得て17年から契約栽培をスタートさせた。

加東市は酒米・山田錦の産地として知られるが、それに次ぐ特産品がなかった。手間暇をかけて新しい産物を作っても、農家が利益を出すのは容易ではない。そこで、われわれがきちんとした価格で買い上げ、付加価値のある商品を作って売っていくことが大事になる。

今回の連携は農業の振興と地元経済の活性化、そして市民の健康につながるものになると期待している。人口4万人の町で、こんなにもち麦を食べるのかと言われるような状況を作っていきたい。

――蒸し大豆は順調に市場が伸びていますが、もち麦の方はいかがですか。

柳本　蒸し大豆は今期も当社で前年比1・4～1・5倍で推移している。加東市の社工場内に蒸し豆専用の新工場を来春稼働させる予定で、生産量の倍増を目指す。

一方、もち麦の売上げはまだ蒸し大豆の1割程度だが、潜在ニーズは強く蒸し大豆の比ではないぐらい、大きな市場に育つとみている。

――その理由は何ですか。

柳本　当社はもち麦をスープで食べる提案をこれまでも行ってきた。今回の新ブランドでは、6品のうち3品が粉末スープを添付した「スープで食べるもち麦＝写真」だ。

もち麦は通常、米飯に何割か混ぜて食べられることが多いが、この商品はもち麦だけをオリジナルスープでおいしく食べる商品。お湯を注ぐだけで簡単に食べられるので、時間のない朝食に適している。この商品で、ご飯やパン、グラノーラなどの巨大な朝食市場のうち1％でも獲得できれば大きい。

また、ご飯と比較してカロリーは半分、糖質は4割、そして食物繊維は10倍と健康面からも強くアピールできる。

――蒸し豆やもち麦が拡大の一方、主力商品である佃煮や煮豆の市場は伸び悩んでいます。

柳本　例えば蒸し大豆は青果売場、豆のデザート「豆ふるる」は和菓子コーナーなど、カテゴリーを超えた売場展開や他の食材と絡めたメニュー提案が進んでいる。佃煮や煮豆においても、こうした取り組みを積極的に広げていくことが大事。何もしなければ縮小するだけだ。

また、当社では昨年に続き、今年も9月から11月末まで食物繊維をテーマにしたキャンペーンを行う。昆布や大豆をはじめ、さつまいも、蕗、もち麦など当社の主力商品の多くは食物繊維を豊富に含んだ素材を使っている。

食物繊維の不足は現代の食生活における重要な問題の一つであり、実際にこうしたアピールを行うと反応が強く、気にしている人が多いことが分かる。このキャンペーンが消費者の問題解決とともに、縮小傾向にある佃煮・煮豆市場の回復にもつながると期待している。

逆光線

「ヒットラーが権力を握ってからは（略）ナチ党にたいする反対はドイツにたいする反対を意味した。より大きな集団と合一していないという感情ほど、一般の人間にとって堪えがたいものはないであろう」（E・フロム『自由からの逃走』日高六郎訳）▼安倍政権の対韓政策に反対する韓国での集会が、日本では「反日集会」と報じられた。この国では、政権に対する反対は日本に対する反対を意味するらしい▼「『嫌韓』ではなく『断韓』だ厄介な隣人にサヨウナラ　韓国なんて要らない」（週刊ポスト）なる見出しが大手週刊誌に躍り、「（竹島は）戦争で取り返すしかないんじゃないですか？」（丸山穂高議員）と自らは戦死する可能性など思いもよらない政治家が、涼しい顔で言い放つ。この社会は大丈夫か▼「自由は近代人に独立と合理性とをあたえたが、一方個人を孤独におとしいれ、そのため個人を不安な無力なものにした」（前掲書）。その克服に向け、われわれは国家という「より大きな集団との合一」を選ぶのか、国家を超えた人間同士の連帯を選ぶのか――。いま試されている。

ACCESS VALUE
ACCESS
まだ、
届けていない
価値がある。

食の未来はどんなだろう。野菜もお肉もお魚も、飲み物もお惣菜もスイーツも毎日どんどん美味しくなっていく。一流レストランの美味しさが我が家にやってくるかもしれない。健康的で美しい日本の食が海を越えて行く。その時、世界はどんな笑顔を見せてくれるだろう。私たち日本アクセスは食の総合卸企業として「まだ、届けていない価値」を探求し、食の未来を見つめています。

心に届く、美味しさを
日本アクセス
株式会社 日本アクセス　http://www.nippon-access.co.jp/